

国勢調査 2015

今年は、5年に一度の国勢調査 全国一斉に平成27年 国勢調査を実施します

国勢調査は、日本国内に住む全ての人と世帯を対象として、5年に一度実施される国の最も重要な統計調査です。調査結果は、福祉、教育、雇用、防災、地域対策など、日本の未来をつくる大切な基礎資料となります。

平成27年国勢調査より、国勢調査員が配布する調査票への記入による回答の他、インターネットを通じてパソコンやスマートフォンを利用してより便利に回答できるようになりました。10月1日現在の皆さんの状況を回答してください。

なお、国勢調査の調査方法などの詳細については、広報くしろ9月号で紹介します。

9月10日以降に国勢調査員がお伺いします。 ご協力よろしくお願ひします。

※国勢調査を装う「かたり調査」にご注意ください！

「かたり調査」とは、行政機関が行う統計調査であるかのような、紛らわしい表示や説明をして、個人情報や金品等を詐取する行為のことです。

国勢調査では、調査員が金銭を要求することはありません。

国勢調査員は、写真付きの「国勢調査員証」を携帯しておりますので、提示を求め身分を確認のうえ調査にご協力をお願いします。

問合せ 市役所都市経営課統計担当 (☎31-4205)
阿寒町行政センター地域振興課地域振興担当 (☎66-2121)
音別町行政センター地域振興課地域振興担当 (☎01547-6-2231)



▲岡本太郎「反世界」1964（昭和39）年



▲佐伯祐三「ガス灯と広告」1927（昭和2）年



▲宮本三郎「青い敷物」1936（昭和11）年

〈第40回釧路市民文化展〉

国立美術館巡回展

洋画の大樹が根付くまで



黒田清輝、藤島武二、岡田三郎助、安井曾太郎、宮本三郎、小磯良平、パウル・クレイ、佐伯祐三、岡本太郎、瑛九

8月23日(日)まで

午前10時～午後5時 月曜日休館

観覧料 一般800円（大学生以下無料）

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方および付き添いの方は無料。

毎週
金・土曜日は
午後8時まで
開館

明治以降に花開いた日本洋画史。その黎明期には黒田清輝、藤島武二らが洋画技法を広め、萬鉄五郎、岸田劉生ら新進気鋭の若い作家たちが、次々と新風を吹き込みました。

戦後、洋画は日本の美術界において重要な一翼を担うようになります。本展では日本美術界に洋画という大樹が根付いてきたその道程を、東京国立近代美術館の名品でたどります。変遷と探究を重ねてきた日本近代洋画史と、その中で生まれた個性あふれる作家の名品をご覧ください。

【関連イベント】

●歩行者天国アートイベント
「墨象にチャレンジ！」

今年も北大通歩行者天国を舞台に、アートパフォーマンスを開催！路上に敷かれた紙に大きな筆で一字を書いてみよう！

日時 8月8日(土)午後4時30分～6時30分・9日(日)午前11時

～午後0時30分
会場 北大通歩行者天国 佐藤紙店前

※当日自由参加（雨天中止）

●夏休みベキタ工作広場

夏祭りにピッタリの風鈴作りや、うちわ作り、無料の工作も！

申し込み不要なので、飛び入り参加で楽しめます！

日時 8月15日(土)・16日(日)午前10時～午後3時

会場 釧路市立美術館ロビー

※当日自由参加

釧路市立美術館

まなぼつと幣舞3階

(幣舞町4-28 ☎42-6116)